

だいせん

市議会だより

DAISEN CITY COUNCIL NEWS



一刻も早い復旧・復興を

がんばろう東北



3月11日(金)午後2時46分に発生した三陸沖を震源とする地震は、国内観測史上最大級のマグニチュード9.0を記録。大仙市でも震度5強を観測し直ちに災害対策本部を立ち上げ、市内の停電や断水、避難所設置など災害への対応を行いました。また被災地への支援として災害協定に基づく救援物資や燃料、医薬品などの配送を行うとともに避難者の受け入れを行うサポートセンターの設置や災害義援金の受け付けも行っています。4月中旬には岩手県遠野市の下綾織地区コミュニティ消防センターにボランティアの活動拠点として「だいせん応援ハウス」を開設し、市社会福祉協議会と連携しながら宮古市、釜石市及び大船渡市の避難所における食事や支給物資の仕分け、家屋の清掃やゴミの収集作業等のボランティア活動を全面的に応援することになっています。被災された皆さま、そのご家族の方々に對しましては心より御見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。(写真上：だいせん応援ハウスの開設に向け出発する栗林市長ほか市職員。写真左：震災の犠牲になられた方々のご冥福をお祈りし黙祷を捧げた第1回(3月)定例会の最終日)

平成23年第1回（3月）定例会

88件の議案、4件の請願と陳情、1件の意見書を議決

第1回（3月）定例会は2月28日に招集され、3月17日までの18日間の会期で行われました。

本会議第1日目に条例案32件、単行案17件、補正予算案15件、23年度当初予算案23件の計86件が提案され、同日に条例案2件と単行案1件を同意、原案可決としたほか、4日目と5日目に単行案1件と補正予算案1件が追加で提案され、5日目の最終日に残りの議案をいずれも原案可決、同意と決しました。主な内容は次のとおりです。

条例案・単行案

▽大仙市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定

市の財政状況を勘案し、市議会議長、副議長及び議員の報酬月額について、平成22年度において、それぞれ7%相当額を減じているが、平成23年度においても同額を減じるもの。
議長▼月額51万円↓47万4千円、副議長▼月額46万6千円↓43万3千円、議員▼月額43万2千円↓40万1千円、減額の期間▼平成23年4月1日から平成24年3月31日まで。

児童館は4月1日。戸月、高花、新道児童館は7月1日。

▽大仙市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

国の緊急少子化対策に準じて、平成21年10月1日から23年3月31日までの間に出生した場合の国民健康保険における出産育児一時金の額を暫定的に附則において39万円（本則規定は35万円）としておりますが、平成23年4月1日からはこれを本則規定の額として支給するもの。施行期日は一部を除いて4月1日。

▽大仙市宮神岡スキー場条例を廃止する条例の制定について

▽大仙市宮西仙北スキー場設置条例を廃止する条例の制定について

▽大仙市宮仙北スキー場設置条例を廃止する等の条例の制定について

少子化、若者のスキー離れなどによりスキー場の利用者の減少が著しいことから、公共施設見直し計画に基づき、笹倉スキー場、西仙北スキー場及び仙北スキー場を廃止するもので、平成23年4月1日から施行するもの。なお、仙北スキー場跡地については、冬季の市民の体力づくりのため、冬季健康広場として市民の利用に供するもの。



廃止となる神岡地域の「笹倉スキー場」

▽大仙市下水道条例の一部を改正する条例の制定について

▽大仙市農業集落排水施設の一部を改正する条例の制定について

下水道使用料と農業集落排水施設使用料については、合併前の市町村間で額の差が大きかったことから、合併時に統一できず先送りしてきた経緯があり、平成20年度に統一した使用料体系に向けた第1回の使用料改定を行っている。今般、まずは公平性の観点から地域ごとに異なる使用料を統一すること、また、経営基盤の強化を図るため、国の示す使用料水準とすることの2点を主眼に、第2回の使用料改定を行うもので、平成23年11

月1日から施行するもの。

▽大仙市協和モーターサイクル場の指定管理者の指定について

指定期間の満了に伴い、秋田県モータースポーツ振興会（潟上市天王）を新たに指定するもの。指定期間は平成23年4月1日から平成26年3月31日まで。

補正予算

▽平成22年度大仙市一般会計補正予算（第12号）

【主な内容】

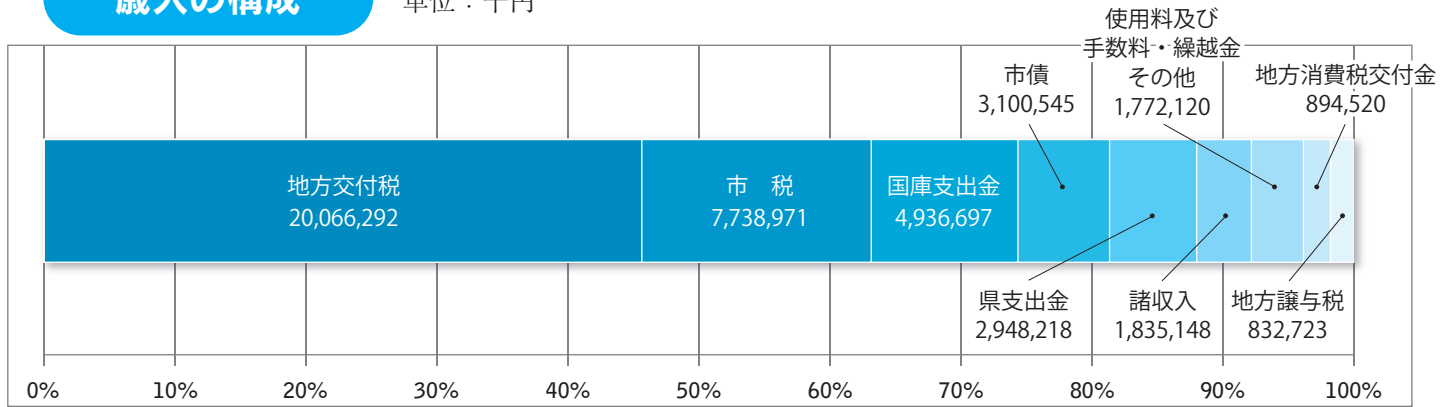
歳入歳出予算の総額に7億2,110万8千円を追加するもの。
歳入▼地方交付税、地方消費税交付金、国庫支出金、県支出金、繰越金、市債等の増額補正。
歳出▼長期債元金償還金4億2,330万円、財政調整基金積立金2億5,054万2千円、除雪対策費1億8,999万8千円、国民健康保険事業特別会計繰出金8,884万7千円、生活バス路線維持対策経費7,161万円、障がい福祉サービス給付費5,247万7千円、介護老人保健施設介護サービス事業特別会計繰出金2,221万9千円等の増額補正。

平成23年度一般会計当初予算は441億2,523万4千円

一般会計の歳入歳出予算の総額は441億2,523万4千円で、前年度当初予算に比較して5億6,490万7千円の増、率にして1.3%の増となっております。また国民健康保険事業などの20の特別会計の総額は211億9,422万9千円で、前年度当初予算に比較して5,905万3千円の減、率にして0.3%の減となっております。一般会計の歳入、歳出の構成は下記のとおりです。

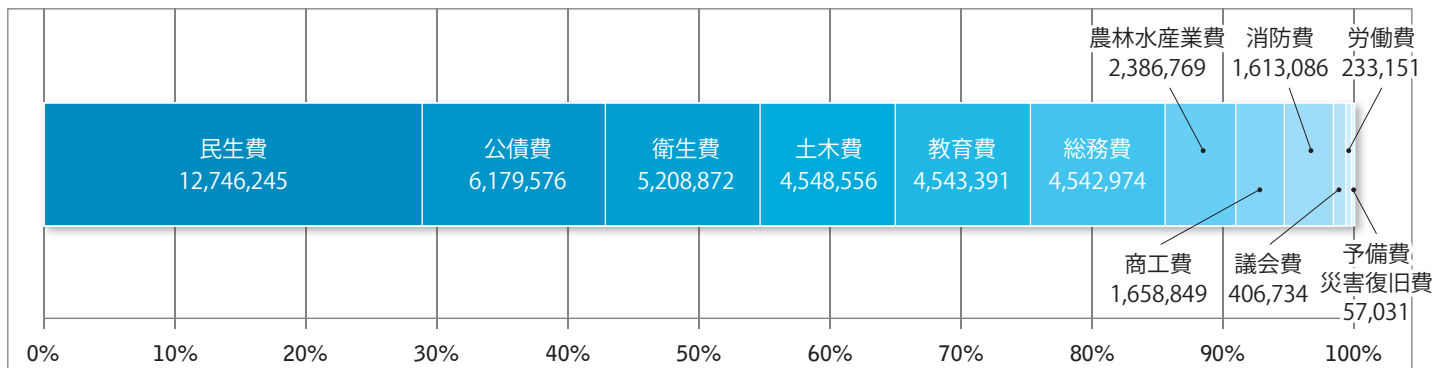
歳入の構成

単位：千円



歳出の構成

単位：千円



◆予算質疑

予算質疑においては3人の議員が平成23年度予算について、次のような質疑を行いました。

【金谷道男議員】

◇歳入の地方交付税及び市債、歳出の公債費に関連した予算①地方債残高に対する後年度の国の支援見込額について ②財政健全化判断比率について

◇桜守プロジェクト事業関連経費①地域の桜情報の伝達について

◇地域イントラネット基盤施設管理費①地域情報化の推進について

◇「がんばる集落」活性化支援事業①市民との協働事業について

【佐藤隆盛議員】

◇住宅用火災警報器設置啓発事業費(廃事業)①住宅用火災警報器設置啓発事業費について

◇市債に関連した予算①平成23年度予算に占める国の「地方向け財政投融资」に関する財務省が指導する「キャッシュフロー計算書」について

◇公債費に関連した予算①公債費に伴う利息額の全体的な管理について

◇債務負担行為①電子計算システム更新経費の抑制策について

◇一般会計及び土地区画整理事業特別会計①中通線開通に係る予算措置について

◇橋りょう維持費①橋りょう長寿命化修繕計画の予算について

◇外国語指導助手等招致事業費・コロンブスの卵わくわくサイエンス事業費①学習内容や授業時間が増加する2011年からの「新学習指導要領」に関連する予算措置であるか否かについて。

◆反対討論

【佐藤文子議員】

「大仙市下水道条例の一部を改正する条例の制定について」、「大仙市農業集落排水施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について」及び「大仙市戸別浄化槽の整備に関する条例の一部を改正する条例の制定について」

反対理由▼水洗化率は61・4%で県内市町村の21番目と決して高くは無く、下水道等の整備普及率は地域格差もある。こうした中で料金統一を急ぐあまり、

使用料を引き上げること、今後の整備普及率がなかなか進まない状況をつくり出すものと考えられる。また市民所得の低下、地域経済の悪化の中で住民負担を増やすこうした引き上げ案は認め

るわけにはいかない。

※このほか、5件の議案に反対討論を行いました。

討論を行いました。

土地区画整理事業と 住宅市街地総合整備事業について



大地の会
千葉 健 議員

◆22年度末まで実施した総事業費及び補償費はいくらか。また最終年度の27年度における総見込額はいくらか。

【栗林市長】22年度末までに投資した土地区画整理事業費の総額は、253億239万2千円となる見込みで、このうち移転補償費の総額は162億9,236万9千円で、事業費全体の64.4%となる見込みです。また、27年度末までの補償費の総額は179億7,038万9千円で事業費全体の60.3%となる見込みです。住宅市街地総合整備事業につきましては、15年度から26年度までの事業計画で実施しており、総事業費は26億3,500万円で、このうち21年8月に完成しております大花都市再生住宅の建築費が16億1,665万円で、事業費全体の61.4%を占めております。

◆区画整理区域内の建物移転及び解体等に係る補償費について、一般的な算

出手順や算出方法を伺いたい。

【栗林市長】補償費の一般的な算出方法としては、現在の建物の基礎、軸部、屋根、内外装仕上げ、開口部などの項目を調査した上で、同様の建物を新築した場合に要する費用を算出します。これを推定再建築費といいます。これに建築してからの経過年数に応じた再築補償率を乗じて補償額を算出します。一般的な木造専用住宅の場合、再築補償率は経過年数10年で0.935、20年で0.833、30年で0.675というように推移してまいります。

解体補償費の算出方法は、建物補償と同様、「東北地区用地対策連絡会」の発行する標準書をもとに解体費を積み上げ、更に、構造、用途、規模から木くず、ガレキ、金属くずなどの区分により廃材運搬、廃材処理費までを計上しております。

◆事業も終盤に入っているが、これまで区画整理した街並みは当初想像されたとおりの景観と捉えているのか。

【栗林市長】これまでに整備が概ね完了いたしました。JＲ大曲駅西地区につきましましては、事業目的に沿った街並みが形成されていると考えております。仙北総合総合病院の移転改築を核とする「大曲通町地区市街地再開発事業」を契機に、今後、未利用地も解消され、より一層、中心市街地の活性化が図られていくものと考えております。

一般質問

農業振興計画について



大地の会
武田 隆 議員

◆今後5年間の「大仙市農業振興計画」は、農家の方々が農業を前向きに捉え再生に取り組んでみようと思われるような計画となっているのか。

【栗林市長】農業を取り巻く、社会、経済の情勢は、政権が変わり農業政策も大きく変わったものの、先の読めない不安定な状況であり、経済においては、依然として景気は低迷し、米をはじめとする農産物価格は低迷しております。このような時にこそ、様々な変化に耐え得る農業が求められているのではないかと認識から「変化に耐え得る強い農業の実現」を基本テーマに据え、「担い手の育成と生産環境の整備」「地域に適合した農作物づくり」「加工・販売交流型農業の推進」「農村環境の改善と保全」を4つの柱に据え、計画を策定したものであります。

◆経営体が占める耕作地面積カパー率で考えると現状のカパー率49.5%と殆ど変わらず、これ以上の耕作地集積は無理なのではないかと危惧されるが。

【栗林市長】農地の集積先となる認定農業者や農業法人、集落営農組織の増加と担い手そのものが進化することによって、今後、担い手への集積率の増加につながるものと考えております。地域的に見ますと、市の東部地区に比較し、西部地区で進んでいない状況にありますが、その要因としては、農地の条件が悪く、引き受け手の確保が難しいという問題点が考えられます。これは、ほ場整備事業の伸展により解消される可能性が高く、今後予定されている市西部のほ場整備を計画的に進めるとともに、中山間地域のうち、補助事業に参加できない地域を対象に、過剰な投資を抑え、地域が必要とする土地改良事業を実施するため「小規模集落元気な地域づくり基盤整備事業」を計画し、中山間地域の耕作条件を改善し、集積のしやすい条件整備を進めてまいります。

◆市が主導し、農業団体等と一緒に農地も保有できる農業生産法人を設立し、農業従事者の高齢化及び耕作放棄地に歯止めをかけてはどうか。

【栗林市長】中山間地域などの条件不利地域では、農地の引き受け手が少ないと認識しておりますので、中山間農地引き受け手確保事業などの単独事業を立ち上げて支援したいという考えから市が主導して法人を立ち上げることが考えておりません。

※武田議員はこれらの質問の他、「企業による農業参入の促進について」の質問も行いました。

農業問題について



だいせんの会
竹原 弘治 議員

◆農業所得向上に向けて、複合化や多角化による足腰の強い農業の実現が急務と思われるが、これらを推進するための市の取り組みは。

【栗林市長】平成23年度から取り組みます主な新規事業としては、他市町村に負けない野菜の産地化を図るため、大仙重点野菜生産拡大事業、えだまめ生産に係る機械等への助成を行う、えだまめ日本一生産条件整備事業、新たな付加価値を生み出す6次産業化推進事業、伝統ある地域特産野菜の保存と生産拡大を目指し、意欲のある農業者を支援する「未来へのこせ」地域特産野菜等応援事業の各事業を実施して参ります。

◆農業振興計画においては、農業総合指導センターの改編方針として市内2箇所に集約を図り機能強化に努めるとある。併せて、現在太田地域に設置されている農業振興情報センターについて、市内にもう1箇所を新たに設置し、農業総合指導センターと一体的に情報発信や営農指導等を推進していく必要

性があると考えられるが。

【栗林市長】農業振興情報センターの新たな設置についてであります。県では新規就農総合対策として、農業試験場などで研修を行うフロンティア育成研修などの研修事業を実施しておりますが、現場に重点を置き、就農後の実践に結びつく研修は、県の事業だけでは決して十分でないことから、市として、県及び近隣市町の動向を踏まえ、新規就農者研修施設の充実を図っていく必要があると考えており、前向きに検討してまいります。

「獄の湯」の源泉掘削等について

◆「獄の湯」の源泉掘削等について、どのような計画を持っているのか。

【久米副市長】平成23年度当初予算に温泉電磁探査業務委託費と新たな源泉が見つかり次第、秋田県環境審議会温泉部会に掘削の申請をするための業務委託費を計上したところであります。同部会が毎年4月、7月、11月の3回開催されることから、源泉が見つかり次第、直近の温泉部会開催に合わせて申請手続きを済ませ、許可がおり次第掘削作業を行う計画であります。なお、掘削作業とその後の揚湯施設整備に約10カ月を要すると聞いており、新たな温泉を供給できるのは最短でも24年6月以降になるものと考えております。

※竹原議員はこれらの質問の他、「今冬の豪雪被害への対応について」の質問も行ってまいりました。

一般質問

「公共施設白書」の作成を



公明党
杉沢 千恵子 議員

◆公共施設が抱える課題解決のため、公共施設の状態をまとめた報告書を作成し、建て替えや改修に係る中・長期的なビジョンを定めるべきだと思いが。

【老松総務部長】現在の公共施設管理シートの内容を充実させて、公共施設の状態をまとめた報告書として作成するとともに、公共施設見直し計画とあわせて、市民に公開できるようにして参りたいと考えております。

空き家管理条例の制定について

◆安全で安心なまちづくりのため、空き家管理条例を制定すべきと思うが。

【栗林市長】平成20年9月に制定した「大仙市安全・安心まちづくり条例」第5条第2項において、犯罪及び災害が発生しないよう所有者、管理者が空き家を適正に管理するよう定めております。今後とも所有者が不在、不明の空き家が増加していくと考えられますので、こうしたケースへの実効性のある対策について、提言のあった条例制定による効果も含め、平成23年度において研究させて頂

きたいと存じます。

◆大仙市に空き家は何軒あるのか。

【栗林市長】平成18年度の調査では951戸で、このうち693戸、73%については所有者又は管理者を把握してはおりますが、残り258戸については未確認となっております。この調査から5年が経過しようとしておりますので、23年度に再調査を実施いたします。

◆空き家を市営住宅として活用することも考えても良いと思いが。

【栗林市長】23年度には関係部署と連携を図って空き家について現状の再調査を進め、空き家の分布状況、所有者の把握とその意向など、実態を調査把握してデータ化を行い、それらに基づいて活用方法を検討して参りたいと考え、市営住宅としての利用も検討して参りたいと考えております。

家読（うちどく）の推進について

◆家族のコミュニケーションを図ろうとする試みの家読を推進してはどうか。

【三浦教育長】当市では22年4月に「大仙市親と子の夢を育む読書活動推進計画」を策定し、ブックスタート事業を始めとして、家庭や地域、保育園や幼稚園、学校及び図書館における読書活動を推進しております。今後、家族が読書を通して絆を深めていく「家読」に結びつく教育活動を支援して参りたいと考えております。

※杉沢議員はこれらの質問の他、「支え合う地域社会づくりについて」等の質問も行ってまいりました。

高齢者世帯の 除排雪支援について



日本共産党
佐藤 文子 議員

◆年々増加する高齢者世帯の雪下ろしは重要な行政課題と思うが、雪下ろし要員の育成や即応体制の確立など高齢者・障がい者世帯を対象とした雪下ろし対策についての考え方は。

【栗林市長】除雪ボランティア「大雪雪まる隊」の活動や全市体制として2回の一斉除雪デーの実施など、今冬の豪雪における高齢者世帯支援を行ったところでありますが、ボランティア並びに職員の安全性確保の観点から、雪下ろし作業を対象外としている現状にあり、雪下ろし対策は業者の周知や幹旋に止まっております。今後、ますます高齢者世帯が増加することに鑑みますと、地域の見守りや声かけが重要となりますし、空き家対策等も含め、市全体の視点からの除排雪体制の再構築も必要かと考えておりますので、来季に向けて総合的に検討して参りたいと考えております。

◆高齢者が多く住んでいる地域の狭隘道路において、市道管理の一端として、市直営で消雪施設の整備を進めていく

ことを検討すべきと思うが。

【栗林市長】市全体では237の消雪組合があり、「大仙市消雪施設整備補助金交付要綱」に基づき施設整備や維持管理をしておりますが、一方、地下水の枯渇や地盤沈下という問題も抱えており、慎重さが求められることから、この制度は今後も継続して参りたいと考えています。今冬の豪雪体験を踏まえ、検討会を開催し、来シーズン以降に向けた雪対策を検証することとしておりますので、この中で消雪施設整備についても検討して参りますので、少し時間を頂きたいと思っております。

公契約条例の制定について

◆地域経済効果と雇用の安定確保及び安心で質の高い公共事業、公的サービスにおいて期待される公契約条例の制定を求めるが、市の考えは。

【栗林市長】全国的には千葉県野田市や川崎市で条例化されているほか、他にも検討している自治体があることも承知しておりますが、大部分の自治体では、今後の課題となっていると認識しております。特に、条例が適用される契約や労働者等の範囲の問題、及び条例施行後の履行確認の方法など、整理すべき課題もあることから、市といたしまして、国、県や他市の状況を把握しながら対応して参りたいと考えております。

※佐藤議員はこれらの質問の他、「介護サービス」の公平性の確保について」の質問も行いました。

一般質問

仙北組合総合病院 建設計画について



新公会
小山 緑郎 議員

◆新規に病院施設を整備する機会に併せて、ヘリポートを整備する必要性があると考えらるが。

【栗林市長】秋田県では、仙北組合総合病院をヘリコプターの離発着場を有する災害拠点病院として、重症患者を受け入れることが可能な「搬送先指定病院」としてさらには、ドクターヘリや消防防災ヘリを活用した県外の高次医療機関へのスムーズな搬送が可能となる「搬送元医療機関」として位置づけたいとし、新病院へのヘリポートの設置について、秋田県厚生連及び仙北組合病院へ要望があったと聞いております。現時点で県より市に対しヘリポート設置の正式な要請はありませんが、今後、県から説明があった場合、秋田県厚生連、仙北組合総合病院及び秋田県と協議して参りたいと考えております。

◆院内保育所等の設置が必要と考えるが、市からも設置に向けて提案願えるか。
【栗林市長】市では、市街地再開発事業により病院の改築を進めるにあたり、「医療・福祉・健康・交通等の核施設整備」をキーワードとしたまちづくりを進めることとし、病院移転後の跡地に夜間保育へも対応可能なこども園の設置を計画し、病院へ勤務する医師、看護師等も安心して働ける環境整備に努めることとして参ることから、新病院内での院内保育所の設置について病院側としても考えていないところでありませす。

秋田スギ大規模製材工場建設事業費補助金について

◆製材工場の生産能力に対応した原木の仕入れ状況や、販売計画は大丈夫か。

【栗林市長】原木の確保については、秋田県森林組合連合会や5社の素材生産事業者が、事業主体である秋田製材協働組合に15万立米を超える原木を供給することとしており、実施にあたっては、安定的な供給を図るため、協定を結ぶこととしております。その他に、森林管理局からの導入も視野に入れております。また、製品の販売計画ですが、一般製材品は生産量の7割の2万7、160立米を県外出荷、1万2千立米を県内出荷を予定しております。製品については、県内外の17社の販売先から、14万立米ほどの購入予約を取りまとめられており、計画されている生産量を超える数量は確保していると考えております。

※小山議員はこれらの質問の他、「農業振興計画について」の質問も行いました。

◆委員会審査のあらまし◆

総務民生常任委員会

当委員会に審査付託となった案件は、条例案4件、平成22年度補正予算5件、平成23年度当初予算9件で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。このうち、22年度一般会計補正予算では、災害等の不測の事態に備えるために2億5千万円あまりを積み立てることや、銀行等から借り入れしている地域再生事業債を、無利子の県振興資金に借り換えすることにより利子の軽減を図ることなどが主な内容でありました。また、23年度一般会計当初予算の審査では、総合支所に関することや借入金、税金、AED、交通安全対策、青少年問題、ゴミの堆肥化、古紙のリサイクル、特定外来生物調査駆除事業など、多岐にわたる質疑とそれに対する答弁があり、討論では「職員数、とりわけ住民に身近な支所職員を大幅に減らす予算には賛成できない。」との反対意見があり、採決の結果、賛成委員の多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。また、「2011年度年金引き下げの撤回と無年金・低年金者に緊急措置を求めることについて」の陳情は、妥当であり採択すべきであるとの意見と、年金は物価スライド制に基づいた適切なものであることなどから不採択にすべきであるとの意見があり、採決の結果、不採択と決しました。(委員長 武田 隆)

企画産業常任委員会

当委員会に審査付託となった案件は、条例案9件、単行案3件、補正予算案2件、当初予算案1件で、いずれも原案のとおり可決、同意すべきものと決しました。条例案「大仙市地域中核病院整備支援基金条例の制定について」は、仙北組合総合病院の改築に活用して欲しいとのことで申し出のある寄附金の受け皿として基金を創設し、管理方法等を定めるもの。単行案「大仙市協和モーターサイクル場の指定管理者の指定について」は、指定期間の満了に伴い、新たに秋田県モータースポーツ振興会を3年間指定管理者として指定するもの。当初予算案「平成23年度大仙市一般会計予算」には、集落等が自主的に展開する地域づくり活動を支援する「がんばる集落」活性化支援事業、重点野菜3品目(枝豆、アスパラガス、そらまめ)の生産に取り組む経営体を奨励しそれぞれ出荷額1億円以上を目指す大仙重点野菜生産拡大事業などの新規事業が含まれておりました。本会議第5日に上程された「平成22年度大仙市一般会計補正予算(第13号)」は、豪雪により倒壊・破損した農業用パイプハウスの新設・補修に対して補助する雪害復旧支援対策事業でありました。ほかに請願1件、陳情1件を採択、陳情1件を趣旨採択と決しました。(委員長 橋村 誠)

教育福祉常任委員会

当委員会に審査付託となった案件は、条例案11件、単行案4件、22年度補正予算4件、23年度当初予算7件で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。条例案のうち、「大仙市立学校設置条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について」は、平成24年度に開校する神岡地域、西仙北地域及び南外地域の統合小・中学校の名称について、それぞれ正式名称を大仙市立神岡小学校、大仙市立西仙北小学校、大仙市立南外小学校及び大仙市立西仙北中学校とするもの。一般会計補正予算の民生費のうち、高齢者等除雪サービス事業費は、今冬の豪雪による利用者及び利用回数の増に伴う補正。23年度一般会計当初予算の衛生費のうち、大腸がん検診研究事業費は、国立がん研究センターと昭和大学の研究事業に本市がモデル事業として参画するもので、中仙地域と太田地域の40歳~74歳までの一般男女を対象に、10年間の研究期間で内視鏡検査と便潜血検査との比較による大腸がん死亡率の減少効果を研究するもの。教育費のうち、音のまち大仙楽器サポート事業は、小・中学校の楽器購入や更新を行うことで地域文化の土壌を支えていく小・中学生の音楽活動を充実させ、市民全体の文化活動の発展向上を図るものなどでありました。

(委員長 金谷道男)

建設水道常任委員会

当委員会に審査付託となった案件は、条例案6件、単行案10件、平成22年度一般会計・特別会計・上水道事業会計補正予算8件、23年度一般会計・特別会計・上水道事業会計当初予算9件で、いずれも原案どおり可決または同意すべきものと決しました。条例案の「大仙市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について」は、道路施行令に準じて定められている道路占用料について、固定資産の評価替えに伴い、同施行令が改正されたことから、これに準じて占用料を改定するもの。本会議4日目に追加提案された「市道中仙4号線館ノ内北川橋橋梁上部工事請負契約の締結について」は、指名競争入札をした結果、昭和コンクリート工業(株)秋田営業所(所長 佐々木竜二)が落札し、1億5,130万5千円で仮契約を締結したもので、工事の内容は中仙地域鍵見内地区の館ノ内北川橋の橋梁上部工事としてコンクリート製の橋桁を架けた後、路面舗装を行うもので、工期は平成23年11月30日まで。22年度一般会計補正予算(第12号)は、除雪回数の増見込みによる経費の補正から除雪対策費に1億8,999万8千円の増額補正、北ノ沢市営住宅建設事業費の実績見込み等から地域住宅交付金事業費は1,709万6千円の減額補正等でありました。(委員長 佐藤芳雄)

議会のついで

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------|---------|----------|----------|--------------|-----------|-----------------|-------------|-----------------|---------|---------|-------------|---------|-------------|-------------|-----------------|------------------------------|-----------------------|-------------|------------------|
| 17日 | 15日 | 14日 | 11日 | 10日 | 9日 | 8日 | 7日 | 3日 | 28日 | 23日 | 21日 | 18日 | 16日 | 15日 | 2日 | 31日 | 24日 | 20日 | 18日 | 13日 |
| 全員協議会 | 第1回定例会(第5日目)・議員 | 議会運営委員会 | 各常任委員会審査 | 各常任委員会審査 | 第1回定例会(第4日目) | 基本条例特別委員会 | 第1回定例会(第3日目)・議会 | 政治倫理条例特別委員会 | 第1回定例会(第1日目)・議員 | 会派代表者会議 | 議会運営委員会 | 議会基本条例特別委員会 | 議員全員協議会 | 政治倫理条例特別委員会 | 議会基本条例特別委員会 | 議会運営委員会・第1回臨時議会 | 議員全員協議会・総務民生常任委員会協議会・会派代表者会議 | 委員会所管事務調査・議会基本条例特別委員会 | 政治倫理条例特別委員会 | 議会運営委員会・議会報編集委員会 |

【3月】

【2月】

【1月】

第1回臨時会

財産区管理委員14件を同意

中通線新設工事請負契約は1,896万8,250円を増額

1月31日に第1回臨時会が開催され、人事案件14件、単行案4件、補正予算案4件を原案どおり可決及び同意と決しました。人事案件の14件は内小友財産区と大川西根財産区管理会財産区管理委員の任期が2月7日をもって満了することから、その後任について選任するため、議会の同意を求めたもの。

単行案の中通線新設工事請負契約の変更については、平成23年度に施工予定であった歩道擁壁部の盛土工を前倒しして実施する必要が生じたことなどから、施工方法や数量などを変更する必要が生じたことに伴い、契約金額を増額するもの。契約金額は1,896万8,250円増の1億7,961万8,250円で工期は3月25日まで1週間延長されるものでした。

「平成22年度大仙市一般会計補正予算(第11号)」は、国の平成22年度補正予算で創設された「地域活性化・きめ細かな交付金」及び「住民生活に光をそそぐ交付金」で実施する事業及び除雪経費等について補正を行うもので、歳入歳出予算の総額に、それぞれ16億9,501万5千円を追加し、補正後の予算

総額を480億3,211万円とするもので、その内訳では強首カントリーエレベーター利用組合が事業主体として実施するカントリーエレベーター建設事業に係る補助金が4億8,298万5千円、除雪対策費に2億4,053万8千円、中仙4号線橋梁工事費に1億5千万円、ほ場整備事業9地区に係る負担金1億4,295万円、住宅リフォーム支援事業費9千万円などでありました。

議案は人事案件を除き、各常任委員会に審査付託され、慎重審査されたあと、本会議で議決されました。財産区管理委員に選任された方々は次のとおりです。(敬称略)

- 【内小友財産区】大槻四郎(内小友・再任)、打川忠一(同・再任)、小松鈞(同・再任)、古屋昇(同・再任)、東海林繁(同・再任)、加藤一夫(同・再任)、中邑喜勢治(同・再任)
- 【大川西根財産区】深谷和義(大曲西根・再任)、武田金雄(同・再任)、佐藤準(同・再任)、今野克朗(蛭川・再任)、山口猛(大曲西根・再任)、加賀公(同・新任)、三浦孝雄(蛭川・新任)

先進地に学ぶ!

昨年11月に議会運営委員会が視察研修を行いました。研修レポートが提出されましたので、ご報告します。

議会運営委員会では11月25日から27日にかけて、徳島県鳴門市と兵庫県加古川市を視察しました。

鳴門市では倫理条例等に関する事項について及び政務調査費に関する事項についての調査をしました。同市では5年前の衆議院議員選挙において現職議員7人が逮捕されるという事件が発生し、辞職勧告や自主解散の声が上がり、その後の臨時議会で議員定数4名削減を原案可決した後に賛成多数で自主解散いたしました。その後も議会改革が進められ、議員としての倫理面での決議や情報公開等、議会の活性化によって信頼を回復するために政治倫理条例を制定しました。同条例で請負等に関する議員の義務が適用される親族は①3親等以内の血族 ②配偶者 ③2親等以内の姻族は、鳴門市及び同市特定法人等と請負をすることに對して辞退するよう努めなければならないとし、3親等以内の血族の範囲は全国的にも例が無く、非常に厳しいと思われましたが、これまで議員倫理調査特別委員会を開催した回数も1回で、処分も無かったというものでした。政務調査費は議員個人に対して月額2万5千円を支給しており、その使途については議会事務局が厳しくチェックをするとともに、「市政報告」という議会報とは別の印刷物を会派にとらわれない議員の集団で作成し、

全戸に配布もしていただきました。加古川市では、年4回の議会報のほかに、「ぎかい月報」を毎月発行しており、その経緯や発行体制について研修いたしました。「ぎかい月報」は昭和46

年11月に議会活動の一環として議会の活動内容などを報告する印刷物で、A4サイズで2〜6ページで構成され、編集については事務局職員が担当します。印刷は市内のデジタル印刷機で各町内会長320人、旧市議会議員、公共施設へ配布され、その内容には委員会報告、視察報告、視察受入状況、議会行事を掲載しているとのことでした。また、加古川市内ではケーブル放送も行っており、本会議の中継も各家庭のテレビで見られる状況になりました。

両市ともに委員各位から活発な質問や意見交換がなされ、当市の今後の事業の参考となる貴重な事例を研修することができました。(委員長 佐藤隆盛)

議長交際費 (1月1日~3月31日)

| 摘要 | 件数 | 金額 |
|--------|------|----------|
| 弔慰 | 0件 | 0円 |
| 慶祝 | 17件 | 113,000円 |
| 協賛 | 4件 | 11,048円 |
| 計 | 21件 | 124,048円 |
| 22年度合計 | 121件 | 770,900円 |

提出された議案と審議結果

(このページのみに適用 ■原案可決 ■同意)

【第1回 臨時会】 1月31日(1日間)

- 内小友財産区管理会財産区管理委員の選任について(7件)
- 大川西根財産区管理会財産区管理委員の選任について(7件)
- 大仙市地域情報通信基盤光ファイバ網敷設工事請負契約の変更について
- 中通線新設工事請負契約の変更について
- 平成22年度大仙市簡易水道事業特別会計への繰入額の変更について
- 平成22年度大仙市介護老人保健施設介護サービス事業特別会計への繰入額の変更について
- 平成22年度大仙市一般会計補正予算(第11号)
- 平成22年度大仙市簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)
- 平成22年度大仙市介護老人保健施設介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成22年度大仙市上水道事業会計補正予算(第3号)

6月定例会会期のご案内

- 6月6日(月) 本会議第1日(市政報告・議案上程等)
 14日(火) 本会議第2日(一般質問)
 16日(木) 本会議第3日(一般質問・議案質疑・委員会付託)
 17日(金)・20日(月) 常任委員会審査
 23日(木) 本会議第4日(委員長報告・質疑・討論・表決)
 ※現時点での予定であり、変更される場合があります。
 変更内容は随時、議会ホームページでご案内しています。

請願・陳情・意見書

請 願

◇循環型堆肥工場の建設に関することについて

提出者=大仙広域EM活用研究会長 伊藤和廣
紹介議員=金谷道男・武田隆

【採 択】

陳 情

◆最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援の拡充を求めることについて

提出者=秋田県春闘共闘懇談会代表委員 中村秀也他

【採 択】

◆労働者派遣法の早期抜本改正と雇用の安定を求めることについて

提出者=秋田県春闘共闘懇談会代表委員 中村秀也他

【趣旨採択】

◆2011年度年金引き下げの撤回と無年金・低年金者に緊急措置を求めることについて

提出者=全日本年金者組合秋田県本部執行委員長渡部雅子他

【不採択】

意見書

●最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援の拡充を求める意見書

※上記の意見書は、大仙市議会企画産業常任委員会の提案により議決し、内閣総理大臣と厚生労働大臣に提出いたしました。

大 仙 市 議 会 基 本 条 例 制 定 に む け て

議会基本条例(素案)に対するご意見をお寄せください。

市議会では、議会の情報公開と市民参加を基本とし、市民に身近な活力ある議会を目指した議会改革を図るため、議会基本条例の制定に向けて特別委員会を設置して調査を進めてまいりました。このほど、委員会としての条例素案がまとまり、広くこの素案を公表し、市民の皆様からのご意見を考慮した条例の制定を図るため、次のとおりパブリックコメント(市民意見提出制度)を実施いたします。市民の皆様のご意見をお寄せください。

- 公表の方法 大仙市議会基本条例(素案)を資料として、議会事務局・各支所市民サービス課及び公民館等・大仙市公式ホームページで公表
- 公表・募集期間 平成23年5月10日(火)から平成23年6月3日(金)まで
- 提出方法 「パブリックコメント意見提出用紙」に記入して提出。(公表場所またはホームページに用紙を準備)
- 提出先
 - ・持参(代理人によるものを含みます):大仙市議会事務局(大曲庁舎3階)
 - ・郵送:〒014-8601 大仙市大曲花園町1番1号 大仙市議会事務局
 - ・FAX:0187-62-8822
 - ・メールアドレス:gikai@city.daisen.akita.jp
 - ・公式ホームページ(大仙市議会)内に意見募集期間中設置する応募専用フォーム
- その他
 - ・パブリックコメントに寄せられた意見をふまえて、議会基本条例制定の参考とさせていただきます。
 - ・いただいたご意見は、公平性を確保するため、個別対応はせず、パブリックコメント期間終了後、すべての意見について整理をした上で原案作成の資料として活用するとともに、ご意見に対する概要及び原案への反映の可否等について、大仙市議会ホームページ等で公表します。
 - ・パブリックコメントに対して寄せられたご意見は、住所、氏名を除き、そのままの形で公表することがあります。個人が特定される内容は、意見本文にはできるだけ記入しないでください。
 - ・意見を受領したことについての、確認の連絡は省略させていただきます。
 - ・電話や口頭での意見の提出は、パブリックコメントとして取り扱えませんのでご注意ください。

【問い合わせ先】 大仙市議会事務局 電話0187-63-1111(内線303)

※各地域ごとの住民説明会も実施いたします。日時・場所などは後日、広報と議会ホームページでお知らせいたします。

提出された議案と審議結果

(このページのみに適用 ■原案可決 ■同意 ■認定 ■承認 □継続審査)

【第1回 定例会】 2月28日～3月17日 (18日間)

- 平成23年度大仙市簡易水道事業特別会計への繰入れについて
- 平成23年度大仙市公共下水道事業特別会計への繰入れについて
- 平成23年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計への繰入れについて
- 平成23年度大仙市特定地域生活排水処理事業特別会計への繰入れについて
- 平成23年度大仙市農業集落排水事業特別会計への繰入れについて
- 平成23年度大仙市介護老人保健施設介護サービス事業特別会計への繰入れについて
- 平成23年度大仙市老人デイサービス事業特別会計への繰入れについて
- 平成23年度大仙市スキー場事業特別会計への繰入れについて
- 平成22年度大仙市一般会計補正予算(第12号)
- 平成22年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算(第6号)
- 平成22年度大仙市老人保健特別会計補正予算(第2号)
- 平成22年度大仙市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- 平成22年度大仙市土地区画整理事業特別会計補正予算(第4号)
- 平成22年度大仙市奨学資金特別会計補正予算(第1号)
- 平成22年度大仙市宅地造成事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成22年度大仙市簡易水道事業特別会計補正予算(第5号)
- 平成22年度大仙市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)
- 平成22年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)
- 平成22年度大仙市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)
- 平成22年度大仙市介護老人保健施設介護サービス事業特別会計補正予算(第3号)
- 平成22年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算(第3号)
- 平成22年度大仙市淀川財産区特別会計補正予算(第1号)
- 平成22年度大仙市上水道事業会計補正予算(第4号)
- 平成23年度大仙市一般会計予算
- 平成23年度大仙市国民健康保険事業特別会計予算
- 平成23年度大仙市後期高齢者医療特別会計予算
- 平成23年度大仙市土地区画整理事業特別会計予算
- 平成23年度大仙市学校給食事業特別会計予算
- 平成23年度大仙市奨学資金特別会計予算
- 平成23年度大仙市宅地造成事業特別会計予算
- 平成23年度大仙市簡易水道事業特別会計予算
- 平成23年度大仙市公共下水道事業特別会計予算
- 平成23年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算
- 平成23年度大仙市特定地域生活排水処理事業特別会計予算
- 平成23年度大仙市農業集落排水事業特別会計予算
- 平成23年度大仙市介護老人保健施設介護サービス事業特別会計予算
- 平成23年度大仙市老人デイサービス事業特別会計予算
- 平成23年度大仙市スキー場事業特別会計予算
- 平成23年度大仙市内小友財産区特別会計予算
- 平成23年度大仙市大川西根財産区特別会計予算
- 平成23年度大仙市荒川財産区特別会計予算
- 平成23年度大仙市峰吉川財産区特別会計予算
- 平成23年度大仙市船岡財産区特別会計予算
- 平成23年度大仙市淀川財産区特別会計予算
- 平成23年度大仙市市立大曲病院事業会計予算
- 平成23年度大仙市上水道事業会計予算
- 市道中仙4号線館ノ内北川橋橋梁上部工事請負契約の締結について
- 平成22年度大仙市一般会計補正予算(第13号)
- 大仙市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市地域情報通信基盤光ファイバ網敷設工事請負契約の変更について
- 大仙市移動通信用鉄塔設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市肉用牛特別導入事業基金条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市水洗便所等改造資金貸付基金条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市立太田緑地広場条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市牧野条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市高速自動車国道活用施設ぬく森プラザ条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市児童館及び児童センターに関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市保健センター設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市下水道条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市農業集落排水施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市戸別浄化槽の整備に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市立学校設置条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市立教育研究所設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市公民館条例の一部を改正する条例の制定について
- 大曲市へき地保育所条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市清水診療所設置条例を廃止する条例の制定について
- 大仙市北橋岡多目的研修集会施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について
- 大仙市営神岡スキー場条例を廃止する条例の制定について
- 大仙市営西仙北スキー場設置条例を廃止する条例の制定について
- 大仙市営仙北スキー場設置条例を廃止する等の条例の制定について
- 大仙市地上デジタル放送再送信施設設置条例の制定について
- 大仙市地上デジタル放送再送信施設管理運営基金条例の制定について
- 大仙市地域中核病院整備支援基金条例の制定について
- 大仙市大曲地域職業訓練センター条例の制定について
- 大曲市北広域市町村圏組合規約の一部変更について
- 大仙市協和モーターサイクル場の指定管理者の指定について
- 市道の路線の認定及び廃止について
- 平成22年度大仙市宅地造成事業特別会計への繰入額の変更について
- 平成22年度大仙市簡易水道事業特別会計への繰入額の変更について
- 平成22年度大仙市介護老人保健施設介護サービス事業特別会計への繰入額の変更について
- 平成23年度大仙市宅地造成事業特別会計への繰入れについて



その時、議会では新年度当初予算の委員会審査、又、今冬の豪雪被害に関わる対策等について議論がなされていた。

過去最大級といわれる一回の地震は東日本大震災と命名され、通電後のテレビの映像にその被害の甚大さに目を疑ったものである。以来一ヶ月を経過したのだが、被災の皆様の状況を見るにつけ一日も早く安心の生活ができることを願っていた。隣県の私共は、うまい魚が食べたいと言って三陸方面に頻繁に出掛けていた、そんな元の姿になって頂けるように我々に何が出来るのか、又、我々だからこそ出来るのは何なのかを見極め、その支援を息長く継続することが大事なのだと思う。「農業県秋田が食糧の生産に更に精進すること」。我々だからこそ出来る大きな柱の一つであることだと確信している。

編集委員 佐藤孝次 記